

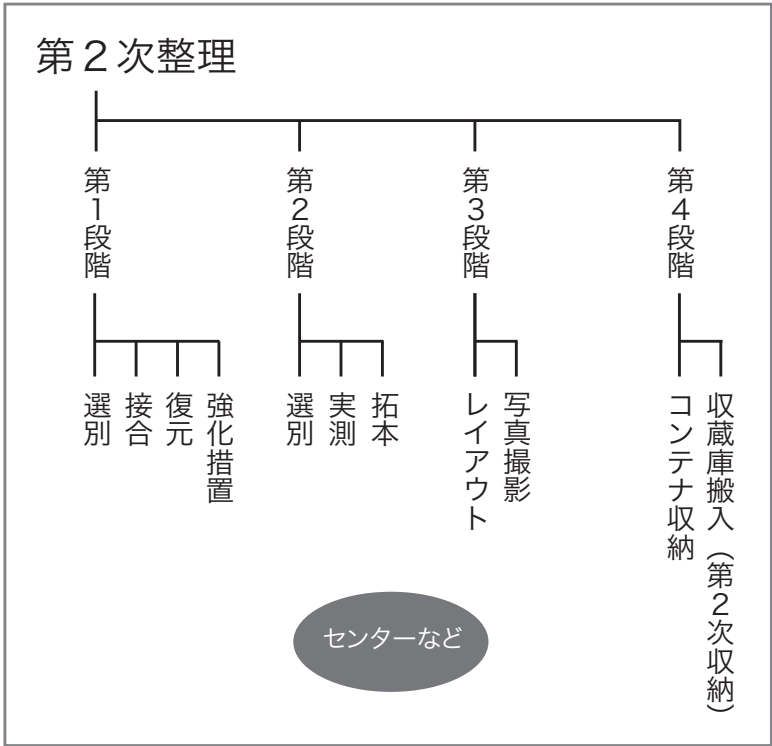
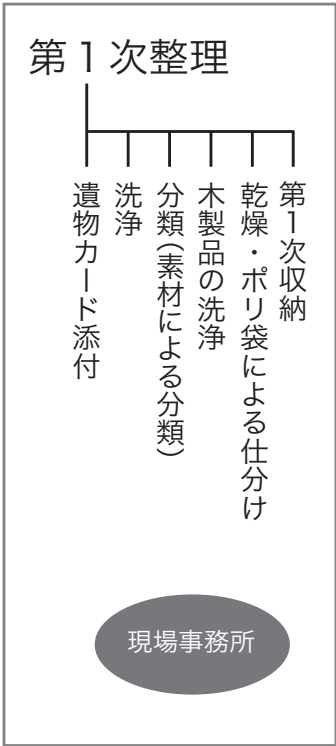
2

愛知県埋蔵文化財センター基本マニュアル 2024

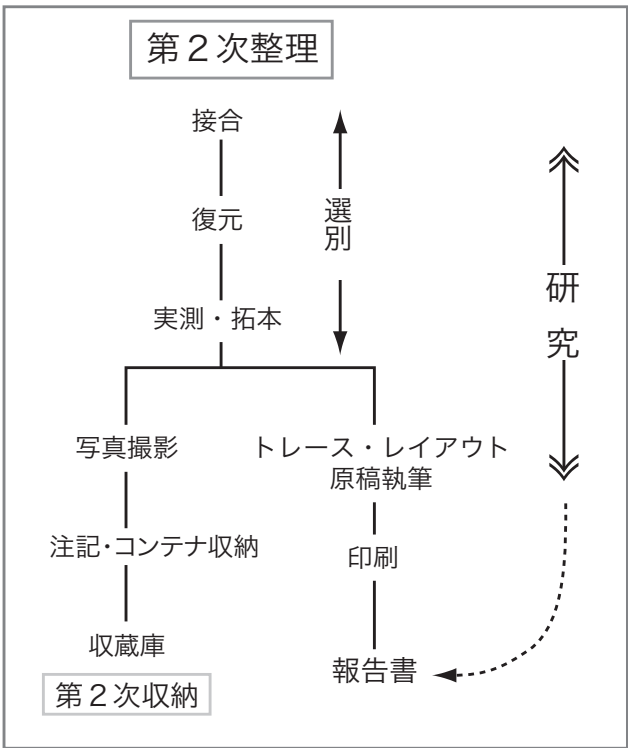
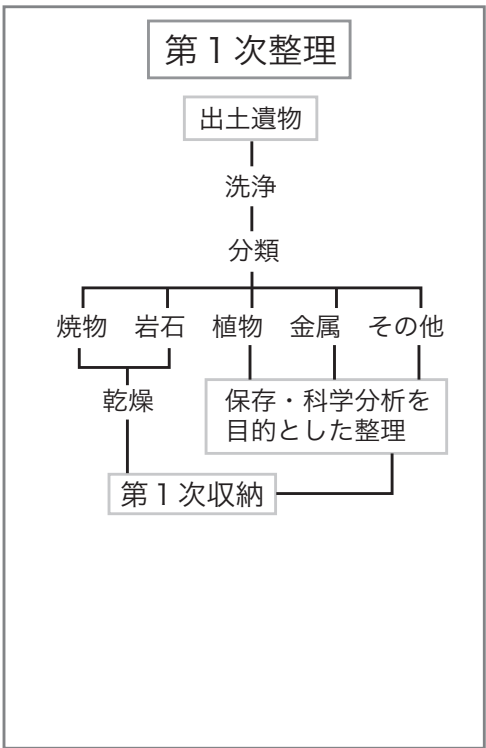
整理作業編

A 遺物整理の方法

整理作業の区分



整理作業の流れ



B 第1次整理（発掘調査業務）

第1次整理（現場事務所で実施を前提）と第2次整理（調査センターなどで実施）。

→てびき（整理）P.12-14・16

遺物を水洗にて洗浄する。

付着物・内容物や墨書・彩色などの表面状況に注意しながら土を落とす。

破損のおそれがある場合は、整った体制と場所で洗浄しなければならない。

焼き物・石器は、十分な乾燥を行う。

木製品は、乾燥防止の梱包もしくは水漬けで保管する。

素材で分類（焼物→土・木製品→木・石器→石）。

コンテナ収納（第1次収納）。

木製品・金属製品など脆弱遺物については一覧表（下図）を添えて速やかにセンタ



遺物水洗作業（室内）



遺物水洗作業（屋外、木製品）

木器番号	器種名	調査区	グリッド	遺構・層位	取り上げ番号	日付	長 (cm)	幅 (径)	厚 (高)	観察	木取り	時期	樹種	ランク

脆弱遺物（木製品）一覧表フォーマット

発掘調査 遺物番号	実測番号	器種名	調査区	グリッド	遺構番号	取上げNo.	X	Y	Z	長さ cm	幅(直径) cm	厚さ(高さ) cm	樹種	木取り	年輪数	年輪幅 cm	発掘現場の推定年輪数	発掘現場の推定年輪幅 cm	所属時期	ランク
1394	001	木簡	00A	DH15	埋土1群	32	-121810.802	-6257.804	5.688	(25.8)	2.5	0.7	ヒノキ	板目	4	0.2			古代	A
1403	012	曲納二次線(鉄) 刃部	00A	埋土2群	埋土5群	228	-121799.99	-6258.617	4.837	(37.8)	(5.0)	2.8	クヌギ	板目	33	0.1~0.2			八王子古宮	A
1404	002	木製甲(彩色)	00A	DH15	埋土5群	302	-121809.287	-6258.87	4.985	(20.1)	(11.1)	1.8	トチノキ	透板目	19	0.3~0.5			八王子古宮	A
1405	015	曲納二次線(鉄)	00A	DH15	埋土4群	205	-121804.25	-6257.45	5.222	(28.8)	8.3		クヌギ	芯持丸木(黒取付)	7	0.7~0.3			山中一遺跡	A
1407	062	杖(鉄片)	00A	DH15	埋土4群	298	-121806.872	-6257.649	5.469	(48.3)	12.4	(9.0)	ヒノキ	分断(4)	82	0.08~0.2	約100	24.5	山中一遺跡	B
1408	101	杖	00A	埋土11群	埋土4群	312	-121792.757	-6258.518	5.066	(74.1)	4.3		マキ	芯持丸木	25	0.1	25	4.3	山中一遺跡	A
1409	102	杖	00A	埋土11群	埋土4群	344	-121791.281	-6260.336	5.14	(43.4)	3.7		マキ	芯持丸木	10	0.15	10	3.7	山中一遺跡	A
1410	130	杖	00A	埋土11群	埋土4群	319	-121785.45	-6260.123	5.083	39.0	2.2		マキ	芯持丸木(黒皮付)	24	0.05	24	2.2	山中一遺跡	B
1411	103	杖	00A	埋土17群	埋土4群	356	-121784.414	-6260.584	4.709	(84.8)	11.3		クヌギ	芯持丸木	16	0.15~0.4	16	11.3	山中一遺跡	A
1412	129	丸木(紐子)	00A	埋土11群	埋土4群	318	-121786.157	-6258.569	5.108	(129.8)	3.0		マキ	芯持丸木	13	0.1	13	3.0	山中一遺跡	B
1413	132	丸棒	00A	DH15	埋土4群	327	-121812.29	-6258.828	4.704	(121.9)	2.8		マキ	芯持丸木	8	0.1~0.3	8	2.8	山中一遺跡	B
1414	131	丸棒	00A	埋土11群	埋土4群	322	-121793.058	-6258.405	4.98	28.5	2.3	1.9	ヒノキ	分断(4)(黒取付)	9	0.25	33	16	山中一遺跡	B
1415	265	丸棒	00A	埋土17群	埋土4群	351	-121782.997	-6258.719	4.913	20.2	5.1	4.8	ブナ	分断(4)(黒取付)	5	0.9	10	17.6	山中一遺跡	B
1416	266	丸棒	00A	埋土11群	埋土4群	321	-121792.997	-6258.719	4.913	20.2	5.1	4.8	ブナ	分断(4)(黒取付)	5	0.9	10	17.6	山中一遺跡	B
1417	221	丸棒	00A	DH15	埋土4群	304-2	-121807.832	-6256.519	4.901	(15.5)	(4.7)	2.8	クヌギ	分断(4)(黒取付)	13	0.15~0.25	27	13.6	山中一遺跡	B
1418	223	丸棒	00A	DH15	埋土4群	304-2	-121807.832	-6256.519	4.901	(15.5)	(4.7)	2.8	クヌギ	分断(4)(黒取付)	13	0.15~0.25	27	13.6	山中一遺跡	B
1419	176	穿孔板	00A	DH15	埋土4群	302	-121809.287	-6258.87	4.985	(22.4)	6.7	1.4		板目	18	0.05~0.1			山中一遺跡	B

木製品一覧表作成例

C 第2次整理（報告書作成業務）

ーに搬入する。

a 報告書作成のための整理作業

→てびき（整理）P.17-

必要資料の選別・接合・復元・実測・撮影を行う。

遺物の観察・実測図作成は、『てびき』整理・報告編による。

整理された遺構データと遺物データから、遺構の時期特定や変遷などの分析。

遺物写真撮影はセンター内写場でおこなう。

遺物写真もデジタルデータで保存 JPEG か TIFF 形式（画像データは撮影時のもの）。

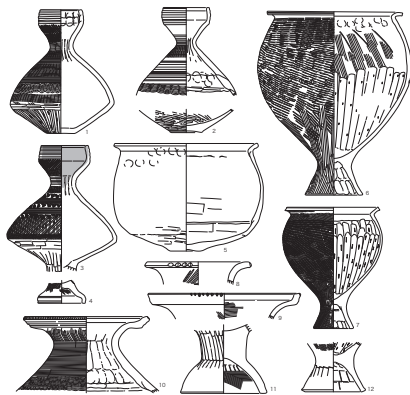
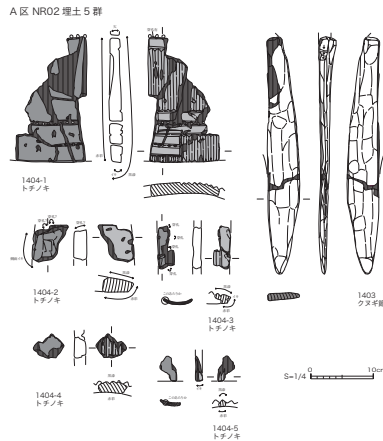


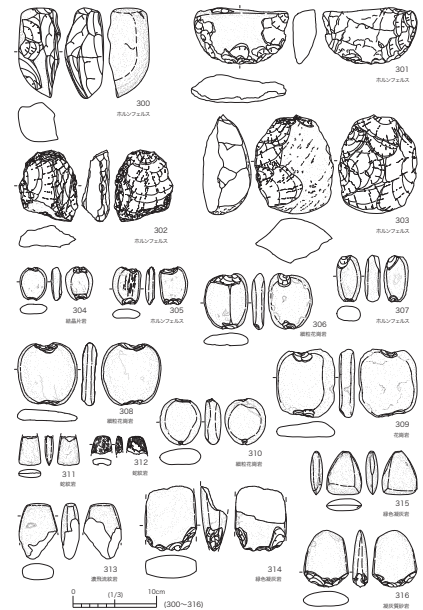
図 01 弥生土器出土層時代～古墳時代遺物実測図 (1)

弥生土器の実測図版



A区 NR02 埋土5群

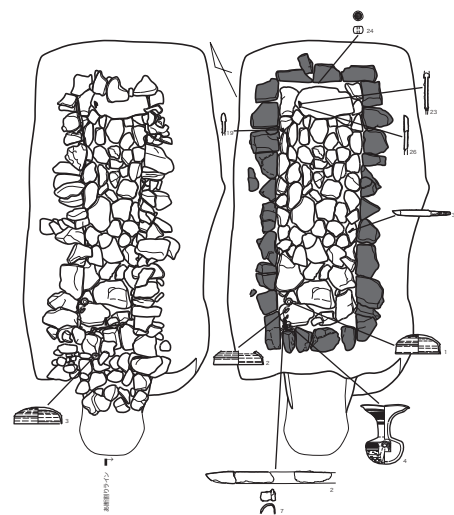
木製品の実測図版



石器の実測図版



遺物撮影の仮設スタジオ



石室内の遺物出土位置図版

b 遺物の収納

遺物に登録番号を注記する。

遺物は、報告書掲載や活用の幅などによって分類され（分類 A ～ D）、台帳を作成し、分類ごとに登録番号順でコンテナ収納する（第 2 次収納）。

収納の方法

コンテナ収納

- 1：土器・石器等、材質により区分し収納する。
- 2：報告書で遺物登録番号が示された遺物については、原則としてその番号順に収納する。
- 3：圧縮収納に努めるなど、極力効率的な収納を行う。
- 4：報告書単位で、A・B・C 1・C 2 の類別順にコンテナ箱または梱包単位に一連の番号（コンテナ番号）をつけ、ラベル表示する。

収蔵庫への収納

- 1：報告書単位に類別収納を行う。
- 2：コンテナ番号は、報告書単位の連番とする。
- 3：コンテナ箱の収納の順序は、類別区分に従い A・B・C 1・C 2 の順とする。
- 4：収蔵庫でのコンテナ箱の配列は、原則としてコンテナ番号順とする。

遺物の登録記号と収納場所

表記は黒

焼き物一般	E	収蔵庫 D
石製品	S	収蔵庫 D
ガラス製品	G	収蔵庫 D
木製品	W	特別収蔵庫
金属製品	M	特別収蔵庫
その他	X	収蔵庫 D・特別収蔵庫 Xb- 骨 Xs- 貝

収蔵のための分類

保管・活用については、『愛知県教育委員会が管轄する出土遺物の収蔵・保管・活用の在り方について』平成 10 年 埋蔵文化財収蔵問題検討会に基づく。

分類 A

考古学的な資料価値が高く、展示・公開等に活用される遺物。

これらは、次の分類 B の資料のうちの一部に該当する。

分類 B

調査報告書に個別資料として掲載され、登録番号が付された資料。

分類 C

上記 A・B 区分以外で一定程度の情報量を有する資料。活用の可能性から C 1・C 2 に細分する。

C 1：遺構内出土品。遺構外出土品のうち研究対象資料（土器の口縁部、底部、文様のある破片など、一定程度の情報を有する資料）、大量生産品・遺構素材等（近世の瓦・古窯の焼台等）のうちのサンプル抽出資料、自然遺物（貝塚の貝・食料残滓等）のうちのサンプル抽出資料等。

C 2：遺構外出土品のうち、研究資料としての活用の可能性が低いと判断される遺物。

大量生産品・遺構素材等のうちのサンプル以外の資料。

分類 D

整理作業の過程で、研究資料として活用しえないと判断された遺物。例えば、摩耗した土器片、変形等で形状の判別ができない木製品など、出土品自体あるいは出土状態等からも、時期・性格等が推定不能で、研究資料として活用しえない遺物など。サンプル以外の自然遺物等。

入カシート見本

基本情報			遺物情報		出土情報		保管情報							
箱番号	集番号	書名	遺跡名 記号	登録番号	種別	調査区	遺構	種別	収納場所	保管配置	梱包形態	梱包サイズ	A区分資料	備考
1	999	宮下遺跡・下懸遺跡 11・五反田遺跡・惣作遺跡 111	宮下遺跡 2AMS	1	E	19A	002SZ	B	収蔵庫 D上	45- C前	B	大		土器棺
2	999	宮下遺跡・下懸遺跡 11・五反田遺跡・惣作遺跡 111	下懸遺跡 2ASK	4/5/6	E	18A/19C	18A-003SZ+005SZ/19C-001SX	B	収蔵庫 D上	45- C	C	27		土器棺
3	999	宮下遺跡・下懸遺跡 11・五反田遺跡・惣作遺跡 111	惣作遺跡 2ASS/ 五反田遺跡 2AGT		S	惣作遺跡 13C/ 五反田遺跡 15	惣作 13C- 検出 1+ 検出 2/ 五反田 15- 攪乱 + 五反田 10Aa トレンチ 2/ 五反田 15B a 包含層 / 五反田 15Bb 包含層	C1			C	54		礎

書名で入力
●●遺跡

遺跡名と略号
/で区切る

半角で入力
/で区切る
E番号は省略
他は登録記号を付す
(例: W67/S123)

種別コードを入力
コード以外の内容
は備考に記入

調査区
/で区切る

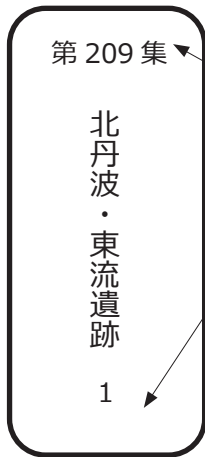
調査区ごとに振られた
遺構番号は - で表示
区分は / で示す

遺物分類コード

梱包形態
コンテナ (C)
ボックス (B)
木箱 (W)
その他 (X)

A分類資料
登録番号を記入
備考に内容を記す

収納箱貼付カード



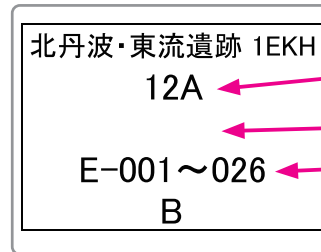
報告書集番号

コンテナ・箱番号

* 貼り付けカードも内容カードも
印字はすべて黒

収納箱貼付内容カード

A 分類・B 分類



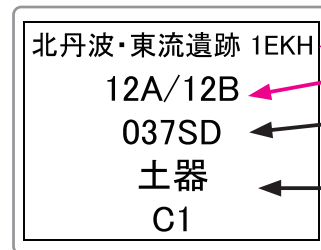
遺跡名と略号 (p3,4参照)

調査区

遺構番号

遺物登録番号

C1 分類・C2 分類・D 分類



遺跡名と略号 (p3,4参照)

調査区

遺構番号

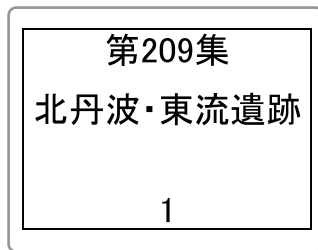
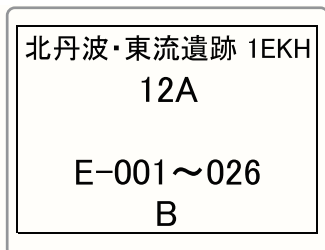
遺物種類など

遺構番号、遺物種類などは任意

収納箱 内容カード

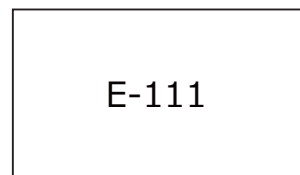
1 面 (貼付内容カードと同じ)

2 面 (箱番号カードと同じ内容)



* 1 面と 2 面を裏表にして、パウチしたものを、箱内に遺物と共に収納。
* シールの破損・紛失時に対応するためのもの。

土器袋同包番号カード



* 登録番号を確認するための番号カード
土器と一緒に袋に入れるもの。
* 紙質と印字方法は問わない。
が、退色防止のため、色は黒。